

# 生物地球化学研究室

教員名：高巢裕之

## ● どんな研究をしているところ？ どんなことに役立つの？

海の生物は食料などの天然資源を提供してくれるだけでなく、地球環境の維持にも重要な役割を果たしています。一方で、人間活動の影響により、多くの海域で水質汚染や海水温の上昇などが深刻化しており、海の生物の生息環境の劣化が問題となっています。

干潟やサンゴ生態系は、海の生き物にとって“ゆりかご（生育場）”とも呼ばれる重要な生息環境です。研究室では、広大な干潟を有する有明海とその支湾の諫早湾、サンゴ群集域が広がる長崎市高島を主な研究フィールドとしています。人間活動に由来する物質の海への流入や海水温の上昇が、海洋生態系の基盤である栄養物質の循環やプランクトンにどのような影響を与えるのかについて研究を行なっています。



広大な干潟を有する有明海



サンゴが自生する高島沿岸

フィールドでは漁船や練習船による観測や潜水調査を行います。実験室では海水や底泥の化学分析、生物の遺伝子解析や



画像解析などを行います。海の生物の生息環境を保全し、持続的に海から恩恵を受けるためにはどのような対策を取ることができるのか、その議論の土台として役立つ研究成果をあげることを目指しています。

キーワード：栄養塩・プランクトン・赤潮・貧酸素水塊・サンゴの白化

## ● 先輩はどんなところに就職しているの？

主に、環境調査・分析、インフラ（水・エネルギー等）、食品、計測・医療機器等の会社や官公庁に就職しています。